

ようこそ 京都へ

再開のつどいへ

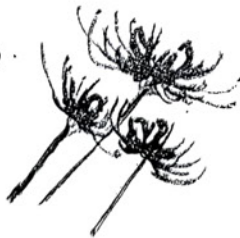


急速に秋らしくなってきました。
 長いつどいの休みのなかでも初めての
 秋のつどいです。
 ゆっくり、ゆったり 子どものこと、自分の
 こと、話して下さい。
 思いを話して聴きあって、
 大切な一日に なりますように。
 心が疲れたときに、帰れる記憶に
 なりますように。

京都では3年前に始めていたつどいの準備もコロナでやむなく
 中断したときから温めて、やっとこぎつけたつどいです。

つどいづくりの仲間がふえてつなびの輪が分厚くたまる気が
 します。いろいろと以前どおりにはいきませんが、事務局・
 実行委員一同 精一杯つとめます。

全国の仲間とともに語りあいましょう。



速報は交流と連絡をします。読んで下さいね
みなさんの感想をお寄せ下さい(とくお寄せ)

ひろば

について。
 (1)こいとあそびの
2つのひろばがあります
 (1)こいのひろばは
 当事者・青年以外(お遠慮下さい)
 あそびのひろばは
 いろいろあそびものを用意しています
 子どもにも参加できます。

痛みたら (2階)
 おやすみどうぞへどうぞ。
 ちねとあそびできるスペースです
 具合が悪くたまった方も
 2階の和室研究室2階
 緊急を要するときは
 本部へお知らせ下さい

写真・録音はNG

についてお願い
 いろんな思いや事情をかわりて
 来られる方も ありがとうございます
 SNSへの画像投稿を
 ふくめて 絶対にしないで下さい
 ますようお願いいたします
 本館の記録・写真係は腕章をつ
 うけからずお返事をいたします

困ったときは↓

つどい本部

は
 コンビションホール
 左手の一番奥です。
 ホールの入り口時
 (本=受付)でも
 一部の業務をおこないます



総合案内

受付の右はしに開設します
 お気軽に相談下さい

報道の方は

必ず本部へお申し込み
 ぶろくをお願いします



参加者のみなさんへ



ようこそおいでいただきました。実行委員会一同、心から歓迎申し上げます。
「全国のつどい」は「語りあおう 学びあおう 子どもたちをまん中に」を合言葉に開かれる交流と学びの場です。一人ひとりの思いを大切に、参加者みなで、心にのこる「つどい」を作りあげていきましょう。実行委員会、事務局も一生懸命つとめます。至らないところもあると思いますが、どうぞご協力ください。

参加者はみなさん対等・平等です

- ① 親も、当事者も、教職員も、研究者も・・・、参加者はみなさん対等・平等です。
- ② “名刺がわり”の名札が資料袋に入っていますが、付ける、付けないは自由です。また、ニックネームなどでOKです。「つどい」ではお互いの思いを尊重しあいます。名前を言いたくない。話したくない場合は、聴いているだけでもいいのです。
- ③ 「つどい」は、「交流と学びの場」ですから、何かを決めたりすることはしません。
- ④ 参加分科会の希望を変更しても差しつかえありません。どんな分科会か、内容がわかりにくい場合は、スタッフにおたずねください。分科会の参加人数が多い場合は、分科会に分かれる場合もありますが、どの分散会に入るかは自由です。

お子さまをお連れの方へ

- ① 会場の都合により、主催者での保育はありません。要項で案内をさせていただいております。
- ② 原則、小学生以上のお子さまは、「ひろば」などでおすごしいだけできます。
「ひろば」は、自由に気持ちよくすごしていただく出入り自由な場所です。保育ではありませんので、保護者の方はお子さまと話し合いをしていただき、安全面については各自で配慮をお願いします。小学生の保護者の方は必ず一緒に「ひろば」に行き、担当者と顔を合わせてください。

その他

- ① スタッフは、オレンジ色のリボンを身につけています。お困りごと、ご相談は遠慮なくスタッフにお声をおかけください。
- ② 貴重品・荷物は各自で責任を持ってください。
- ③ 救護室を用意しております。ご気分が悪くなった方は、本部へご連絡ください。
- ④ 「つどい」開催に際して、2日間の行事保険に入っています。
- ⑤ 開催中は、禁煙にご協力ください。喫煙の際は、指定場所をお願いします。
- ⑥ 写真撮影（SNSへの画像の投稿を含む）、録音など、絶対にしないで下さい。
※会場は他の団体・一般市民も利用されています。
つどい参加者だけが利用するものではありませんのでご留意をお願いします。



22年度の 小・中学生 不登校数

299,048人

2023年10月4日に
文部科学省が発表。

〔前年度は
244,940人でした。〕

小学生 ... 105,112人
中学生 ... 193,936人

不登校児童生徒数は
10年連続で増加し、
過去最多となっています。

詳しいデータは、
文科省のホームページに
掲載されています。



9月3日 毎日新聞に!

登校拒否や不登校に
直面している当事者や
保護者、教職員や支援
者が交流する「第25回
登校拒否・不登校問題
全国集いin京都」
が10月7、8の両日、
亀岡市の生涯学習施設
「ガレリアかめおか」
で開かれる。記念講演、
基礎講座、テーマごと
の12分科会などがあ
り、実行委員会は「当
事者が悩みを語り合
い、『苦しいのは私だ
けではない』と気持ち
を支え合える場にした
い。聞きに来るだけで
も構いません」と参加
を呼びかけている。
コロナ禍のため、今
回は2019年以来的の
開催となる。
7日は「子ども・若
者の生きづらさと自己
肯定感」と題して心理

登校拒否や不登校 悩み語る

来月7、8日・亀岡

臨床家で文芸館大名
教授の高垣忠一郎さん
が記念講演。8日には
家庭や学校での保護者
や教職員の役割などを
学ぶ基礎講座がある。
両日にわたって開か
れる分科会には、参加者
が語り合おうがメイ
ン。小中高それぞれの
現状、保護者と学校の

全国の当事者や関係者ら交流

関わり方、障害、居場所作り、医療、進路などテーマごとに12分科会がある。出入り自由で複数の分科会に参加できる。
参加費は両日5500円、1日のみは3000円。青年・学生は両日2000円、1日1000円。18歳以下は無料。参加申し込みは実行委員会ホームページ（<https://tsu-doi.zenkokuren.jp/>）などで必要事項を確認し、ホームページもしくは郵送やFAXなどで。締め切りは9月15日だが、締め切り後も参加の相談を受け付ける。申込先などの問い合わせは実行事務局（0800・4483・0614）。

【藤田文彦】

オープニング マリンバ演奏

オ・サナマン

♪ エターナリー ♪ 旅路

♪ マンダー・ザ・シー ♪ 愛の讃歌

♪ やさしいお話 ♪



世話人代表 あいさつ

高垣 忠一郎さん

歓迎 高垣先生

ある空港でダンボールに歓迎高垣先生と書いたものを見つけて、出迎えてくださった。その素朴なこの歓迎プレートは僕の宝物になっています。

僕は、今回世話人代表を降ります。

世話人代表を降りても、この全国連絡会からは離れません。

僕は心から皆さんの参加を歓迎いたします。

なぜ、こんなに不登校が増えているのかについては、このあとの記念講演で話します。

実行委員長 あいさつ

春日井 敏之さん

長崎から4年ぶりのつどいです。

皆さん、ほんとうにようこそ おこしいただきました。

コロナをはさんで、いろいろな事情を抱えている中、ほんとうにようこそ!! この会場がいっぱいになって、

先日、文科省が不登校やいじめの数を発表しました。

たいじなのは数ではありません。

一人一人の子どもがどうしたいのか、どう生きたいのか。

私たち大人は、それを支援していきたい。

比較と競争、なんとかしては、という子どもたちの心の声です。

つまり、不登校は社会課題の問題です。

コミュニケーションが遮断されている。まず足元から、再編、再生していきましょう。

来賓 あいさつ

全教 浪岡知朗さん

文科省は、毎年不登校数が増えつづけていることについて、特に去年から5万人も増えたことについて、コロナのせいのように分析していますが、そうではない、競争と管理の学校教育のせいです。

今、全教は、1747の全国の自治体を教育懇談会をもとという、教育大運動を展開しようとしています。草の根からの運動。そこから様々な声をあつめ、束にして、今どういうことが、必要なのか、運動していきたい。

今年の夏に開催された教育のつどいにも、皆様の力をたくさんいただきました。再編されたので、どのようにしていったらよいのか、意見をいただきたいと思っています。

大人も子どもも支えあい

語りあうことが、大切だと思います。

ここには教育の原点があると思っています。私もたくさんこの二日間を学びたいと思っております。よろしくお願いします。



記念講演「子ども・若者の生きづら と自己肯定感」

高垣忠一郎さん

感想

不登校は チャンスだ

日々不安でいっぱいになって
いましたが、「不登校はチャンスだ」
とおっしゃったことがとても心強く
励まされました。

(父母・)

自分を「よしよし」

高垣先生のお話を初めて
お聞きしてから15年。
まるごとの自分の存在
「あるがまま」を肯定する
「自己肯定感」子どもを肯定
するという課題にかわり、今
自分を「よしよしする」に
向きあっています。

(父母・三重)



胸がしめつけられるような 思いで聞きました!

自己肯定感について、愛について
親としての接し方、胸がしめつけら
れるような思いで聞いておりました。
兄弟が続いて不登校になり、対応
に悩みながら、自分なりに考えながら
やってきましたが、とても勉強になりま
した。ありがとうございます。

(父母・京都)

慈しみと愛をもって

この時代に毎日普通に生きて
いたら、気付けば新幹線に
のって、子どもを追いたて、頭が
痛いときけば、手をあててよし
することも忘れて、薬を。(実際に
つい2日前!!)飲ませていた自分
がいました。今日のお話を聞き
いたみと、ダメなところをくつけた
ままのあなたでいいよ、ずっとそば
にいるよ、という心を、我が子に
教室の子たちに送っていきたく
と思えました。そして慈しみと
愛をもって、今、いる自分の場所
から、少しでも社会を、未来を
変えていきたいと強く思いま
した。(教職員・京都)

おわびと訂正

前号、2号のあいさつ特集で
全教のなみおかさんの
漢字表記を間違えました。
正しくは**波岡知朗**さん
です。伏しておわびいたし
ます。ごめん下さい。

早く息子を 抱きしめたく

高垣先生のお話は
毎回自分に気付きを
与えてくれます……



……息子(小1)のこと毎日叱って
ばかりだな……。私が不登校から、先回り
していろいろ言ってしまったのが……。
もっと息子を愛したいな。自分自身の
ことも。息子はどんな風に11学校の
世界を見ているのか。矢張りいいな。
早く息子を抱きしめたくなりました。

(父母・大阪)

心があたたかく お話がきけて
先生の元気なお姿が見られたので、
心があたたかくなりました。
1代世保に待ってる仲間にお土産
とに伝えます。(父母・長崎)



つどいができてよかった!

つどいの再開に感謝

なつかしい顔、かお、カオ!
 全国のつどい: に来てくれました。
 豊岡市内に入った時、まず一面の
 フスマスに歓迎を受けました。

2日間、皆さんと大いに語り合っ
 て帰りたいと思います。つどい:
 の再開に感謝です。(・富山)

いよいよつどいのはじまり

心を穏やかにしてくれる優しい
 音色。いよいよ久しぶりのつどい
 の始まりに気持ちが集まっています。

(・神奈川)



勇気づけられました

初めて参加し、この問題を
 考えている方がたくさんいら
 せることに勇気づけられました。
 この会がひとりで悩んでいら
 せる方々に知られ、世間でも
 知られることを望みます
 (家族)

あたたかく...

マリンバの音色は、まろやかで
 やとここにたどりついた方も
 あたたかく迎えてくれました。

(・)

ほっひと

マリンバの重なり合う音の響きが
 高い天井から降り注いで包んでく
 れるようで、とても心地よい時を
 いただきました。ここに来るまでの
 バタバタした気持ちを開放されて
 ほっひとしています。(・京都)

ギャラリーから 作品紹介

- * 大塚写真、鳥の折り紙
 居場所: レリーフ
 (滋賀県宇治
 Icu. Tcu.)
- * 抽象画
 (京都府南丹市の群)
- * 絵ハガキ
 (南丹市社協 AEW)



書籍 売リ場から

登校拒否・不登校 親たちのあゆみ

— 子ども向きあい、自分と向きあい、登校
 登校拒否・不登校の子ども親を生きる
 おうじとの当事者たちの出会いの物語

この本は編集委員会を重ねて、全国連絡会の
 25年のあゆみの中からつくられました。全国各地
 の親見たちの手記、教員・当事者、研究者の声
 をあつめて 時空を超えた交流をうみだす
 かねがね出版 1800.

今回のつどい寄せられた
 多数の個人、団体、事業所
 からの協賛やご協力に
 感謝します。

※(おしり) (受付で配布の封筒に在中の8ページのもの) に載せま(た)
 次の2団体が言記載もれで(た)って、ここにお知らせします。

- 京都退職教職員の会 舞鶴支部
- 舞鶴の子どもと教育を守る会

今日・明日の

送迎バスの運行については 社会福祉法人 豊岡福祉会
 に多大なお世話をいたたいてあります。

今日のバス... 16:30~17:50 玄関前→豊岡駅 } マイクロバ
 明日の朝... 8:30~10:30 豊岡駅→玄関前 } 4台で
 明日のバス... 15:30~16:50 玄関前→豊岡駅 } 1台の輸送

バス代にあたる乗車協力金を集めます。ご協力をお願いします

子ども・若者の生きづらさと自己肯定感

心理臨床家 高垣忠一郎さん

私が提唱してきた「自分が自分であって大丈夫」という自己肯定感はある部分的な性能の良さを評価して自分を肯定するものではありません。丸ごとの自分の存在「在るがまま」が肯定されるのが自己肯定感です。そのような自己肯定感を「人生の浮き袋」という言い方もしてきました。育てたい(膨らませたい)ほんものの自己肯定感、ダメなところが一杯あるけれど、それを抱えながらも一生懸命に生きて存在している「在るがまま」の自分の存在を肯定する自己肯定感です。有能な人材になって「どんなものだ！オレはすごいだろう」と鼻を高くするような「自尊心」や「自負心」ではなく、人間として「人生の主人公」である大人として自立していくことが可能な本物の自己肯定感であると考えます。

しかし今、多くの子どもや若者達はそうした自己肯定感をもてず、むしろ自己否定の心にさいなまれているのです。何故でしょうか？

子育てや教育畑などでは「子どもの良いところを見つけて認め、褒めてやって自己肯定感を伸ばしましょう」というようなことがよく言われます。褒めることを否定するわけではありませんが、落とし穴があることも知っておいてほしいのです。競争社会での教育や子育てにおいて、私たち大人はいつの間にか比べ癖のついた目で子どもを見てしまい、丸ごとの姿を見失い、評価できる部分にのみ注目しがちです。すると、子ども達は、親や周りの大人の期待に応じて褒められるようなことをすることでしか安心できず、失敗を過度に恐れたり、期待に応えられない自分自身を拒否するような事態に陥ることもあり得るのです。彼らはしんどい、つらいことがあっても中々人に打ち明けることができません。こういう状況に置かれている子どもにとっては、褒められる体験よりも、失敗したり挫折した時に「大丈夫だよ」「それでもいいんだよ」と赦される経験をする方がはるかに大事です。私の言う自己肯定感(人生の浮き袋)を子どもの心の中に膨らませてやれるのは、周りの大人、多くは親でしょう。愛の息吹を吹き込んでやることです。競争社会の中で、親もまた評価され、心に余裕がない状況に置かれ、子どもに対しても「これではダメだ」と焦りや不安のまなざしを向けているのではないのでしょうか。それでは自己肯定感膨らまないだろうと思います。

「個人」とは部分に分割されない「丸ごと」の存在です。かけがえのない人生を生きる主人公であり、権利主体です。それを尊重するという事は、まずは一人ひとりの主体がこの世界をどのように見、どのように感じているかを、その目線に立って見てみよう、感じてみようとする努力することです。私たち大人は、つい先回りをしがちですが、子どもが感じていることに共感的に耳を傾け、寄り添う関係性の中でこそ、子どもはあるがままの自分を見てもらい、愛され、理解されると感じられるのです。「自分が自分であって大丈夫」という自己肯定感がふくらむのです。

(お話し中の「自己肯定感」の部分を中心にまとめた(文責:事務局)

講演のあと、春日井さんと対談してもらいました。

・つい先日の文科省から、不登校児童・生徒数が10年連続で増加し、30万人近いと報告があった。コロナ禍による生活環境の変化や生活リズムの崩れ、対人関係の変化などが要因としているが、表面的だと思う。一つに、コロナ禍のために学校が一斉休校の措置が執られた時はちょうど卒業式・入学式の時期だった。人生のステージが代わる大事な時。「さようなら」と「こんにちは」をきちんと出来なかった。

・競争社会における人材教育で子ども達を部分に切り分け、評価してきたはずみは不登校の問題だけにとどまらない。いじめも同じだ。あるいじめ加害の子は「幸せそうだったから」いじめたという。大人の事件でも同様のことが言われていた。現代の競争的な社会システムでは薄っぺらいエゴによって表面的な評価を求め、得られないと他者を妬んだり恨んだりするようなことになってしまっている。そうした価値観がいじめを生み出すことにもなるのだろう。ジャニーズの性加害報道などもまさにそうしたものだ。「自分を高く売りたい」という、人間を商品化したような在り方だ。こんな社会は狂っているのではないか。憲法13条にあるように全ての人が個人として尊重されるような社会に変えていきたいと切に思っている。

・子どもの問題行動は単に社会を乱す行動というのではない。自分の中に問題が起きているんだと警報を鳴らしているという捉え方もできる。大人は何故、警鐘を鳴らしているのかと考えて、関わっていくことが大切だ。

(高垣さんご発言をまとめた(文責:事務局)

おはようございます。つらい2日目です。

2日めからご参加のみならず、ようこそ! 速報1~3号は受付右ほしにあります。

お弁当は分科会ごとに配ります
申し込んだ方はお弁当を世話人にお渡し下さい



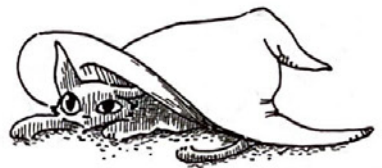


カシリア亀岡までのバス

朝、亀岡駅に行ったら、公的なバス路線では1時間に1本!! エー!!

と、その時、送迎バスが停まるのに気がつきました。ピストンで私たちのためにバスを出してくださっているとのこと。大感謝でした。(東京・スタッフ)

「つどいの再開」
つどいが再び開催されましたこと、よかったです。ありがとうございました。(家族)



見えない苦しみや悩みを意識する機会

采年から、教員となる立場として現代の子どもたちの見えない苦しみや悩みを意識する機会となりました。子どもの頃の自分をふりかえり、考える機会ともなりました。子どもが周りにある評価に関わらず、子ども自身の心の声、行動に向き合える教員になりたいと思いました。(学生)

オープニングと記念講演で心が浄化されました。

私は幼稚園・保育園の先生を目指し日々大学で学んでいます。そこで、「自己肯定感」の言葉や大切さを授業でよく聞いています。「ただ褒めるだけではない、非認知能力を上げるんだ」など、細かく教えられています。どのようにすれば肯定感をもてるのか全く知らず、なんとなく褒めれば、否定しなければいいとしか分かっていませんでした。

また、私自身大人になってからの人間関係で、自分の認知のゆがみ悲観的な部分に悩まされ、友だちを失うこともありました。

自分のためにも未来の子どもと関わるためにもとても大きな学びにすることができました。

先生の声や考え方がとても優しく涙が……。心が浄化され温かい気持ちになりました。(学生・京郡)

わすれもの

分科会会場から届いています。



様々な立場の人が参加した分科会

想像以上に、様々な立場の人が参加した分科会で、お話しされる内容ひとつひとつに考えさせられ、また、胸を打たれました。もっともっと当事者の声をきく必要を感じたひとときでした!

机上では学べないもの

親の声は強い!
机上では学べないものばかり頭が下がります。(教職員・)



ホッとする時間の大切さ



マリンバの音色にリラックスできました。改めてホッとする時間の大切さを感じました。(行政)

一人ではない


同じ立場、気持ちの親同士話しあえ一人ではないと思い、心が落ち着きました。(家族)



分科会の昨日、そして今日

	1日め(昨日)はこんな様子でした	今日はこんなふうに
① 小学生	参加者32名。ひと通り自己紹介。 参加された方の発言への質問を受けてそれを深めたり、親の会の大切さに気づく発言などありました。	分散会に分かれて、親の思いをたくさん出せるようにしたい。
② 中学生	参加者29名。(14名と15名に分かれる) 自己紹介。現状や悩みを時間内に出していただく。出された現状について互いに学び合えた。	初めての方を中心に話してもらおう。また、1日めの補足の思いを出してもらおう。
③ 高校生	参加者26名。自己紹介一巡で終わる。口火は地元の世話人からの話。	20人以上の場合、2つに分けて充分話しあいたい。 午後は1つにまとまる。
④ 障がい	参加者20名。自己紹介のあと3人の方の話を深め、じっくり聴かせていただく。専門的な話もあり参考になった。手話通訳の方も入った。	新しい参加者の自己紹介。 1日めの参加者と2日めの参加者から出てきたテーマについて深めていきたい。
⑤ 学校外のかかわり	参加者40名弱。話題提供のあと2つに分かれる。学生はじめ、学校外の機関からの参加もあって話が深まった。	全ての人の発言が保障されるように取り組みたい。

〈今日はこんなふうに〉
子どもの権利条約を軸に「非行」について考えたい。

⑥ 青少年期	参加者44名。(15名、14名、15名の3つに分かれる。それぞれ自己紹介。ゲーム、不安、軸をきっかけ。8050問題などさまざまな話題。	まず、みんなで話すことが大切。
⑦ 進路自立	3つの分散会を10数人ずつで。「ここに来たら聴いてもらえる」という安心感をもって参加されている方が何人もいらっしやう。じっくり話してもらえた。	1日め語りきれなかった方、2日めから参加の方、思う存分話してもらいたい。
⑧A 居場所	参加者16名。自己紹介で分科会参加の理由、関わりについて話してもらおう。フリースペースの悩み、別室登校の様子などについて話した。	自己紹介、いろいろなタイプの居場所についてついでに話をしてほしい。
⑧B 居場所	参加者23名。元当事者はじめさまざまな立場から活発な話。いろんな居場所の必要性、居場所間の連携、行政とのつきあい方など出てきた。	午前中はミニ講演(福知山の居場所)もとに交流。午後は交流中心に進める。
⑨ 家族の役割	参加者30名。1日めのみ参加の方に発言してもらおう。家族の数だけ悩みがあって交流とまではいかず。広木さんへの質問があり、こたえていただく。	参加された方の思いをじっくり話してもらえる時間にした。
⑩ 手をとる	自己紹介しながら、親の会の活気や悩みと交流。	東京の親の会の話を聞いて深めていきたい。
⑪ 医療	全員自己紹介。それぞれの悩み、思いを出し合う。 〈今日はこんなふうに〉 医療につながるにはどうすればいいか深めたい!	
⑫ 非行	参加者11名。いわゆる「非行」と言われる行動をした子どもたちへの学校の仕打ちも保護者から話される。	

分科会 感想

⑩ 手をつなぐ

「よし、頑張りよう。」

全国の親の会のことを知りたくて参加しました。みなさんの話と聞くことで「よし、頑張りよう。」と思えます。コロナ禍でけずらした元気をこの2日間でとりもどしたい。
(・大分)

1人じゃないんだな

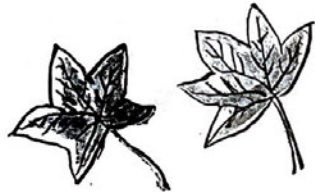
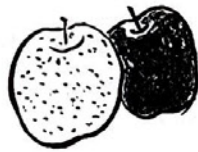
子どもが3年前に不登校になり、手さぐりで今日まで来ました。全国に多くの親の会があり、悩みや課題を持ちつつも活動されていることに勇気もらいました。1人じゃないんだな、と思えました。そして自分も親の会、つながっていいと思いました。
(・)

大事な課題

親の会の歴史の重みを感じながら、新しい課題に対応できる親の会のあり方と、その担い手(スタッフ)が、会の大事な課題だと再認識しました。明日の話し合いが楽しみです。
(・東京)

全国の人と話す

各地での課題や課題の共通性が共有できました。不登校の子どもを持つ親の様子は、古くて新しい課題でもあると再認識しました。全国の人と直接話して感動しました。
(・山梨)



⑨ 居場所B

明日を楽しみ

当事者の方なら、居場所を立ち上げようとする方なら、居場所を工夫して続けている方など、いろいろな話が聞けてよかったです。明日を楽しみます。
(父母・兵庫)

居場所を続けるために

高祖さんが言われたような愛をもってかわれるような居場所を続けていくためには、ネットワーク、行政の力が必要と感じました。当事者の方の話が聞けた事が良かったと思いました。
(・)

幅広いイメージや課題

参加者の皆さまの「居場所」へのイメージや課題が幅広く、なかなか議論が深まりにくかったからだからかなと感じました。
(・京都)

実は...

速報2号で京都の各地域の会が紹介されていました。実は、南丹、京丹波でも細々と「不登校、ひきこもりを考える会」を月1回、アンダーの会として行っています。
(・)

⑨ 親・家族

もっと学びたい

高校生までの子どもの話だけでなく、小学校から30代の人の話やご家族の様子が聞けてとても勉強になりました。もっと学んでいきたいです。
(政党職員)

人数が多くて...

人数が多すぎて、自己紹介だけで多くの時間を費してしま、たのはとても残念。2~3つに分かれて行ってほしい。



分科会 感想

見えてきた課題

参加者の皆さまのエピソード、それぞれの個性と、その中でも少し重なるところを感じ、学びが多くありました。医療につながるまでのプロセス、つながった医療機関の良し悪し、傷つき、利用者同士のぐちの共有、救われたケースなど、ここからの治療、支援のあり方、教育の課題も見えてきたように思う。

(父母、研究者・京都)

⑪ 医療

毎回おもう…

毎回おもうけど…
親はしんどいし…
がんばってるな…って思います。

(・大阪)



備見をもたない

医療にかかわる上で、親が精神科に備見をもたないこと、思い出しました。(父母・兵庫)

⑫ 非行

ピンチがチャンスに

子どもと学校問題は切り離せないと思います。納得のいかないことを引きずらせながら、泣き寝入り(?)するのは絶対によくない。

でも、悪教に親が出ていくのも違いますね。ピンチがチャンスになるように、(・)

すべての子どもが大切

教育はすべての子どもが通る場なので、すべての子どもが大切にされ、大人になっていける居場所になるといいなと思います。そうすると、非行という形で SOS を出した子どもまた自分と向き合っているのかな…… (・沖縄)

⑩ 手をつなぐ

若い世代・人とのつながり

各地のとりくみにうなづいたり、おどろいたり、つづけること、おぼろげな大切さとむずかしさを、また改めて思いました。

若い世代のツールは、若い人にまかせない限り、そういうつながりをつくるのも課題です。

(・北海道)



初めての参加

初めての参加です。親の会の運営の様子が知れてよかったです。スタッフ(世話人)の世代交替を課題と思っています。また組織をどうつくりいかも考えるところですね。(親の会世話人・埼玉)



⑧ 居場所 B

明日が楽しみ

居場所の勉強のために参加しました。いろいろな事業形態を知りました。明日のミニ講座が楽しみです。(父母、相談員・高知)

新鮮…

短い時間でも、当事者、支援者相手の話が聞けて学びや気づきが多かったです。青年期は初めて聞く話があり、新鮮でした。

活動に生かしていきたいと思っております。(父母・長崎)

分科会 感想

自分の価値観で 子どもに接するのは 危険

先生や保護者の方、様々な
キャリアを持つ方の経験談や
お話を聞く中で、本当に様々な
生きづらさを抱える子どもがいる
ことを学びました。

「学校に来なきゃいけない」

「不登校の子にこのような
対応をすることが必要」と、
自分の中で形成されてきた
価値観、対応で子どもたちに
接してしまうことは危険なこと
だと、改めて感じました。

すごく大切な気づきがあった
分科会でした。(学生・山梨)

分科会の人數

全国から来たさまざまな方の話を
聞き大変良かったです。

分科会
少し人数が 99 過ぎたのでは？ (兵庫)

8A 居場所

大人にも居場所が必要

子どもたちの居場所も大切だけど
大人(保護者・教員・フリースタイル等)の
大人たちにも居場所が必要だね〜
というつぶやきが耳に入ってきて、

あぁ、それが私を求めている
居場所かも...と 感じてしまいました。

(母・京都)



フレッシャーに ならないくらいで

やり方やこたえがなくても、
困っている当事者に、
心配してる応援したいと思って
いる人が ほんまにたくさんいるよ
ということが 伝わりと良いよと
思います。フレッシャーにならない
くらいで。()



6 青(成)年期

やっぱり来て良かった

やっぱり来てよかったと思えました。
気持ちが新たにひります。

青(成)年期になつている息子
に対して、親として解決出来ない
気持ちの処理方法を教えて
もらえました。(父母・滋賀)

心がすっと軽くなった

皆さんの話を聞いて、心の重みが
すっと軽くなったように思います。
特に息子のゲームやパソコンを
毎日やっていることと、それだけ
パワフルであるからできるとお話を
伺い、すっともやもやしていた
ことが、霧が晴れたようです。
(父母・相談員・京都)



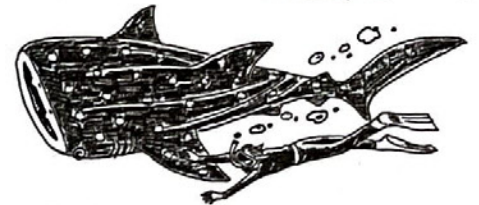
息子の幸せも祈りつつ

セキウに話されたことが すごく 勉強に
なります。意見をきいて 自分の息子と重ね合わせて
きけました。

親が楽しく人生を生きること、本当の自分に
あひ、大切にしていきたいです。息子の幸せを
祈りつつ。(父母・奈良)

けんめいに生きる若者に エールを送りたい

高垣先生のお話と重ねながら
自己紹介をききました。「今」は
流動的であり、今の社会の
しんどさを まともに受けながら
けんめいに生きる若者にエールを
送りたい。経済的な基盤が
必要です。娘も一人ぐらししたい
というけれど、お金もなく、それだけ
働くこともムリ、どうしたら。
診断書を書いてもらう、障害年金
申しこんだけど、ダメでした。
()



次男を己女めて誇りに思う

高垣先生がおっしゃる「自分が自分であつて
よい」ということを命をかけて示していつ
くれた次男を改めて誇りに思っています。
(父母・埼玉)



2023.
第1回全国つどいの京都
速報
希望つどい7号

分科会 感想



7A 進路・自立

まだまだ話を聞きたい.....
もう時間. 明日もまた来ます.
明日が楽しみ.....

自分の気持ちを話せて

今の自分の気持ちを話せてよかったです。参加者の皆さんのお話も聞けてよかったです。やっぱり「羞」に表すということは、大切なことなと思いました。初めて参加しました。良かったです。

(父母・和歌山)

7B 進路・自立

自分の子供への思いが

深まった 久しぶりの分科会に出られ、色々な話を聞いて、自分の子供への思いが深まったと思いました。これからも子供の気持ちによりよっていければと思います。(父母・東京)

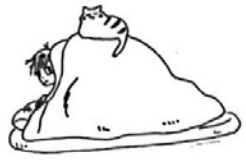
30年続いてきた理由が.....

「受容するってむずかしい」という飛言がありました。つどい参加して、出会いがあり、気づきがあり、わかって来たと言ってくれた方がいました。この会が30年続いてきた理由がわかったような気がします。(読者・京都)

卒業してゆく姿と重なって

「がんばらなければいけない」「できなければいけない」という社会の中で倒れて社会のペースから外れた自分が再び立ちあがるときには「まあええやん」とふわりとゆるんだ自分がある。そして「よしよしを自分で自分に言うあげられる自分がある」山岡先生が最後にそう語られた内容は、私自身が働く定時制高校で卒業してゆく生徒の姿と全く重なって感じました。

(父母・教職員・兵庫)



本人のこだわりにつき合うとは？

自立とは？ 本人のこだわりにつき合うとは？ など、話せて良かったです。やはり、当事者の青年く君の飛言としても 孫との付き合い方に参考にまりました。(京都)

7C 進路・自立

やがて変化して

いろいろな経過をたどって 成長自立していった事が参考になりました。現状では、どうなるかわからないが、やがて変化してくるのではないかと希望になりました。(父母・大阪)



思いがけず豊かな人生経験を

お子様への不登校やひきこもりで思いがけず、豊かな人生を経験することができたというお父さんやお母さんの人生をお聞きすることができました。(京都)

進行役の皆様 ありがとう！

上から目線のようにみません!!
安心して居させて頂いています。
進行役の皆様 素晴らしいです。
(京都)



懐かしい雰囲気

11年ぶりのつどいでした。とても懐かしい雰囲気でした。ここに戻ってこられて良かったです。明日が楽しみです。(京都)

語り合える場を作りたい

現在高校生の息子が小学～中学時代不登校で苦しみました。ひとり親家庭の限界、たいへん、社会の支えの不在 孤立二重、三重と親子で苦しみ乗り越えてきて、京都市の清明高校に出会いました。子どもたち一人一人を尊重して下さる学校に親子ともに命をふき返しました。今、不登校にあるご家庭や当事者のために語り合える場を作りたいと思って参加しました。(父母・京都)

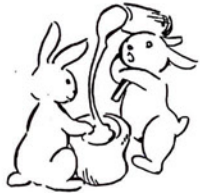
③ 高校生

思わず涙

子どもの不登校からだいぶ時間がたつた。笑顔で話せると思っていたのですが、思わず涙ぐんでしまいました。それだけの思い出していたのと、改めて思いました。(. .)

将来教員に

保護者の方々の思いや願いを聞くことができた貴重な時間となりました。お話を聞く中で、思わず自分まで涙が出たのを覚えています。大学院の研究や学び、将来教員にたつたときに出会うであろう子どもたち、その保護者にどのような声かけや支援ができるかなど、考えたい良い学びになりました。(学生、京都)



子どものためには

今、現在(んとい)思っている親さんの話を聞いて、自分にもそんなことがあるなと思いついていました。子どものためには何をする。どこまで行く」とおっしゃったお父さん、子どもに対する深い愛情を感じました。(. .)

自分だけではないと

高校卒業、進学、休学、退学などいろいろな方の話を聞くことができた。皆が悩んでいることがわかり、自分だけではないということ、そうだとおんな共感ができ、この会に参加できてよかったと思いました。(父母、京都)

元気がいいと

その子その子が生き方を探している。その間、親が元気がいいと、いいと、いいと。子どもを信じて待つ姿勢。まはまは自分自身カットウしています。(父母、京都)

④ 障害のある

うくに

話を聞いてもらって心がうくになりました。話しなごう少し、自分の気持ちと整理できました。やることばかりできてがんばれようです。(. . 京都)

思いをくみとり

学校現場の厳(げん)と、子どもや保護者の生きづらさを共に感じたい。全体会、分科会でした。分科会の参加者の思いをくみとり、丁寧な内容でした。(. . 京都)

危機感

障(しょう)いのあるお子さんに対して、教育現場の配慮は不十分だとつくづく思っています。特別支援学校(学級)の方向も、行動支援という形で強制的な指導が入ってきています。教員も一緒に支えていかなければ、支援教育も危機感を深めていると感じています。(. . 長野)

見つめ直す。

参加者それぞれのお話を聞かせていただき、自分のこと、我が子のこと、生徒のことを見つめ直す貴重な時間となりました。(教職員、京都)

自由にコーナーは

コンベンションホール左手、ギャラリーの隣にあります。各地の全国連合員や関係のある団体の方の催し案内や情報冊子がたくさんあります。

ぜひ「自由にお持ち帰り」下さい

記事訂正 おおびに訂正します。お知らせ、第2号の裏面のみ

★東山区「不登校のきこいの考える委員会」シオンの家
月2回親のあつちり開いています。親の会は親の居場所。聞いたり話したりしていきましょう。心が軽くなるように心がけています。

出品者の方へ

3:30 締め切り
またお引き取り下さい。



⑤ 学校とのかかわり

もっともっと聞きたい

話し出したら止まらなくなって、もっともっと話したい!となりました。和歌山の話、愛知の話、京都の話、大分の話、全教、NPO長崎の話、つげの高校さんαとりくみ、亀岡の話、もっともっと聞きたいと思いました。ここ4~5年、私はなんと孤独な中でやってきたんだらう。ここに来れば、こんなに沢山の当事者さんがいたんだと感動しました。ここに来れたこと、ここに来れるまでに私が元気をとり戻せたことを実感しました。

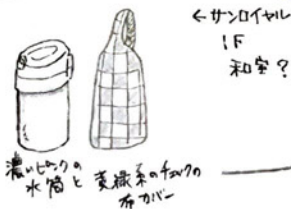
(父母・和歌山)

保健室の先生と

初めての参加でとても緊張してましたが、参加者の方があたたかく意見を聞いてくださって、参加しよかったです。これから保健室の先生を目指す身として、子どもとどうかかわろうかよく考えていきたいです。

(学生)

おかわり物



分科会 感想

難しいですが系口を初めての参加でした。「生々しい」お話をうかがうことができました。「学校とのかかわり」なかなか難しいですが、その系口を探したいと思っています。とても参考になりました。(宮城)

心のためにんだ思いを語り尽くす時間に学校とのかかわりという分科会でいろんな「学校」関係者の方々がお集まりですが、ここでは誰もが親の目線に立って語り合うという貴重な場になっているなあと感じます。明日の続きは、梓をはじめ、心のためにんだ思いを語り尽くす時間になればと思います。(東京・埼玉)



不登校 自己肯定感が大切



あるがままの自分を丸ごと肯定することが必須!と呼びかけらる高垣名誉教授(亀岡市余部町・ガレリアかめおか)

亀岡で全国のつどい

高垣・立命大名誉教授が講演
保護者や教師ら交流
高垣名誉教授は「不登校は『困る』という状態ではなく、『困る』という状態を『困る』という状態に引き起こす原因を探る必要がある」と話した。また、保護者や教師らと交流する重要性も強調した。



比叡大神宮

寄り添い、支える

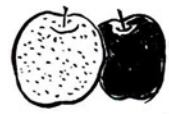


登校拒否・不登校問題全国のつどい
高垣名誉教授は「不登校は『困る』という状態ではなく、『困る』という状態に引き起こす原因を探る必要がある」と話した。また、保護者や教師らと交流する重要性も強調した。

分科会 感想 2日め



自分の中で明確にしたい
 人にとっての「自立とは」を考えたくて
 きました。やはり自分の中でも「働き
 はじめること」と思っているんだなと
 あらためて思いました。(午前中の話を
 きて) 午後のお話で、もっと深めて
 行く中で、自分の中で明確にしたい
 思いました。(⑦進路・自立・大阪)



行政とどう つながっていくのか?

親の会。悩みを出し合いながら
 支えあっていく所とはかり思っていまし
 た。行政とどうつながっていくのか?
 色々な方向性をさがし求めている親と
 どうつながっていくのか。
 企業の参入をどう考え判断して
 いくのか? たくさん課題が
 あるなと改めて勉強になりました。
 親の悩みも子の状況も複雑
 深刻になっていく中、受け止める
 側の心のしんどさも支えあえる
 つどいの場の必要性も再認識
 されたなと思います。
 (⑩手をつなぐ・その他・京都)

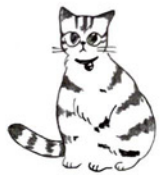
「働かない自立」
 「変わるのではなく、楽しむ」と思て
 一歩ふみ出せた」という若者の話
 が印象に残りました。
 「働かない自立」というのは、難しい
 テーマだなと思いました。
 (⑦進路・自立・父母・東京)

子どもを信じて待つ
 初めての参加でしたが、話を
 聞いてもらえて気持ちも楽に
 なりました。「子どもを信じて待つ」
 難しいです。でも少しずつ子ども
 と成長していきたいです。
 (①小学生・父母・)



自分の人生は自分のもの
 自分の人生は自分のものとして
 生きたいという親の願い。また、不登校
 当事者からの体験も語られ「普通」
 「自立」「できない自分」など、もう一度
 考えなおす時間でした。
 (⑥青(成)年: 埼玉)

くぐり抜けて
 不登校をくぐり抜けてこられた方
 お母さんの話がやっぱり貴重でした。
 (人数が少なかったこともあり、じっくり
 話を深めることができてよかったです
 (②中絶・京都)



**対面での集会や講演は
良いものだ!**
 参加者に若い方(学生さん?若い先生方)
 がちらほら。春日井先生から投げかけら
 れる質問に誠実に答えてくださり、とほ
 ほろりしました。やはり対面での集会
 講演は良いものだと思えて感じました。
 学校の「協働」という考えは、とても
 大切だと思います。コロナ禍中は
 それが「スタスタ」にされICT教育や
 行動支援(応用行動分析等)
 不登行に使われています。(基礎講座2・長野)

わたしだけじゃない
 障がいの分科会に参加
 発達障がいのお子さんを持つ
 保護者さんや、親近感を感じて
 いる方々のお話を聞いていて、
 代み事やエピソードなどに
 自分にもその気持ち全部
 じゃないだろうけど、共感できる
 ところやうなことがあることが見つか
 りました。わたしだけじゃない
 というのは安心感と希望。
 エネルギーになると思います。
 (④障がい・その他・大阪)

本日
15:30~16:30
 電車福祉会がマイクロバス4台で
 比叡山運行。つどいの応援
 ありがとうございます。
 乗車協力金を集めます。ご協力お願いします。



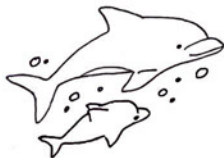
分科会 感想 2日め

人間本来のつながり

分科会でそれぞれの思いを出し合う
ことができ、やはり人間本来のつながり・
関係ってこういうつながりが、じ
の子にもじの大人にもあればいいな、
と思いました。(⑩医療・父母・兵庫)

自分の生き方

父母の立場での発言、当事者の方の
発言、それぞれ胸に入ってきました。父母
の苦しみ、それを乗りこえられた歩み。当
事者の方の素直な発言は心にしみるよ
うに入ってきました。世間の事を気にしな
いで、今自分の生き方が充実しておぼ
よい、やりたい事をしている生き方、
応援していければよいと思った。
(⑦進路・自立・父母・)



弱さを認めること

「症状をどうとらえるか」というお話が
あった。症状を否定的にとらえるのでなく
私の一部としてとらえ、弱さを認めること
が大切なことではないかと感じました。
(①医療・父母・大阪)

深みにこぎ出しました

親の思い…深みにこぎ出しました。我が
子がどうであっても親は俵せになれる。語
をしっかりと聞いてくれる人、話を通じる
(理解してくる)人・仲間。こういう存在こそ
大事。私たちは、学校は、子どもを「ヨシヨシ」
してきたかが問われます。
(②非行・埼玉)

手書きの優しい文字

速報のいつもの手書きの優しい文字に
ほこり😊 みなさんの感想を読みなが
ら「うん、と共感です。こうして分科会
以外の参加者のみなさんとりアルタイムで
紙面でお話できるのは、全国のつどいほ
らではですね。いつもほこりあったかい
気持ちになれる速報を、ありがとうございます
です♡ (その他・父母・大阪)

京都のお土産 イラストあれこれ...



京都イラスト



あまのこ餅



袖たこ



川餅



味素あめ餅



豆大の餅



こんぺいとう



湯葉



東屋



いちばんの
お土産は...
ほっとした
笑顔♡



これで、「つどい in 京都」の
ホームページにつながります?
★速報も見られます。
★感想 などはこちらから
寄せることもできます。

<https://zenkokuren.jp/tsudoii/>

わすれ物・おとし物



イベント前に

白

分科会 感想 2回目

無理せず歩んでいけたら

不登校のあるあるが とてもよくあてはま
っていて、もっと早く知りたかったと感
じました。また、自分以外も同じような心の
動きをしているんだと気づくことができ
ました。これから自分に無理せず歩んで
いけたらいいなと思いました。

(基礎講座1・学生・京都)

つどいに参加して16年

初めてつどいに参加して16年が
経ちました。参加のたびに“家庭で”
に参加しています。親子の信頼関係
を太くすることが 子どもの立ち上がり
にとても大事だと思うからです。

二人の息子も 自分の女子好きなこと、
やりたい事を楽しみながら 親元を
離れて生活して12年が過ぎました。
学校の先生方と共通理解できたら
いいなと思いました。

(基礎講座I 家庭で: 父母・宮崎)

新たな発見

ポリヴェーガル理論について教えて
いただき、これまで理解できなかった
子どもへの乗りつきのシーンについて
新たな発見をすることができ
ました。まだまだ学びが必要
なことがたくさんあるんだと思いました。
(基礎講座I・父母・京都)



違和感も……

支援センター・フリースクール・スペース
別室。いろんな形で どちらがらの
お話しなど お聞きして、その違いが
わかりました。

しかし、「出席扱い」になるということ
はまだ違和感があります。

「しゆなくてもいい」ということにも
違和感があります。どの子も充実した
子ども期をすごせるようにするには
そうなるためにも 今 悩むに
すべきかと考えます。

(⑧ 居場所・その他・京都)



気長に歩んで いけたら

子どもが昔のことが
フラッシュバックして
いつも子どもに
叱られています。
誰にでもあり、それが
長年あって、“どうだった”
と認められる時がくると
思いました。
一人一人の気持ちを
受けとめていただけ。
ありがとうございます。
気長に歩んでいけたらと
思います。

(⑦ 進路自立・)

はじめから心ひらいて

色々な世代の方と交流できて、
参加してよかったです。
母親 どうしての交流はありましたが
はじめから 皆さんが心をひらいて
お話をして下さる姿に心を打たれ
ました。私も安心して 自分のこと
お話しできましたし、皆さんのお話を
聞けて とてもよい経験になりました。
(⑦ 進路自立・父母・京都)



ひろばのメニュー

息子が11歳の時から遊ばせて
もらっていた ひろばを訪ねました。

ひろばの遊びメニューに
「型ぬき」が毎年ある理由が
わかりました!!

初対面の人でも
大人も 子どもも
モクモクと とりくめる!
はまりました……
(ひろば・父母・埼玉)



分科会 感想 2回目

助けを求める力

人に助けをを求める力というのが大事
だなぁと思いました。それはいろいろ
な居場所の中で、他の人と関わり合う
中で身につくものなのかな、と思います。
(◎居場所B・・・)



ついに、このときがきました！

「第25回全国のついでin京都」を、ちょうど一年前の10月7日の朝、
「ここガレリアかめおか」コンベンションホール仮予約成立の瞬間から
とりくみ始めた私たち。このように会場が「全国のついで」の世界に
変身し、こんなにも多くの方々が参加しあたたかな交流が生まれた
こと、「全国のついで」が再び実現したこと、心から感謝致します。
お集りの皆さま、地元亀岡の皆さま、いっしょにつながり歩いてた
みなさま、本当にありがとうございました。さわやかな嬉しい日です。
事務局長 林 敬子

安心・安全

分科会の中で「安心・安全」という
ワードが何度も出てきましたが、本当に
この安心・安全な場が、自分の中から家
族へ、そして社会に広がっていくことが
大切なのだと思います。

(◎居場所B・・・)

気持ちをはき出せた

初めて「青年」以外の分科会に
参加。いろんな立場、子どもさんの年
齢の方、当事者の方がおられる中で
自分の気持ちををはき出せてうれしかった。
(◎青森県・大阪)

編集後記

久々のついで、書籍
コーナーに初めて
の方、なかし方、
元気を分けて下さり
ありがとうございます。

4年ぶりでした。
皆人の変わらない
お顔が見られて
ほっとしました。
鈴木

やっほ集いほ色
いね、の声が一番
響きました！
小山

急に
涼しくな
京都では
Oが

横断重り係、
喜んでおいて
何よりです。
京都組 松田

久しぶりの
顔に11はひい
会えた！！
うれしかった。
大阪 N


初の受付
でした。こまほの
恒様は思いと
ほせかんぽ？
このおはま と

トロッコ
列車
⑤
乗りながら...

久々のついで..
久々11stが
描きました..
Y.K

久しぶりに
友人にお会
えした

4年ぶりのついで
再会を喜びあえ
た最高の時間
でした。T.K

初参加！

あ、という向の
2日前

懐い
くここに
たから絵之
れたR.K

生ケルス
での準備受けが
予想以上に
多かった

速報F410K
印刷算 地元
への協力感謝。
二海三日網をわ
り切E!! Y.K

2日間、たこ
のく久いぶりに
念ひせて。
幸せなひと
でした。ちう

受付です。
できるだけおま
のみなごんに声
をこ、心かけ
た。どうした
でしょう。

初参加でも
天のつ

久しぶりの開催。
久しぶりの再会。
嬉しい未来は
日中開きには
Y.M

4年ぶりのついで
い京都です
よかったです。
またおえる日
たのしみに!!
前田五郎

イベントの
ついでにはおま
でまよった
会場の雰囲気
ついでにふた
響きの利用の

設計図の
たてもを創
きたような
おもしろかった！

顔を見て声を聞
のついでが、こんな
うれしいものか...
実感する2日間
全国のおびさん
おかげさまで
坂本剛子

久しぶりに集
涙がこぼれ
「実行委員の
皆がありが
なりました

